

Computer Setup

ユーザ ガイド

© Copyright 2007 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Windows は米国 Microsoft Corporation の米
国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更され
ることがあります。HP 製品およびサービスに
関する保証は、当該製品およびサービスに
付属の保証規定に明示的に記載されてい
るものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するもの
ではありません。本書に記載されている製
品情報は、日本国内で販売されていないも
のも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対して責任を負いかねますのでご了
承ください。

初版：2007 年 7 月

製品番号：451320-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

目次

1 [Computer Setup]の開始

2 [Computer Setup]の使用

[Computer Setup]での移動および選択	3
[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元	4


3 [Computer Setup]のメニュー

[File] (ファイル) メニュー	6
[Security] (セキュリティ) メニュー	7
[Diagnostics] (診断) メニュー	8
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー	9

索引	11
----------	----

1 [Computer Setup]の開始

[Computer Setup]は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティで、オペレーティングシステムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。

 **注記：** このガイドに記載されている[Computer Setup]のメニュー項目の一部は、機種によってはサポートされない場合があります。

注記： [Computer Setup]ではポインティング デバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。

注記： [Computer Setup]では、USB レガシー サポート機能が有効な場合にのみ USB 接続された外付けキーボードを使用できます。

[Computer Setup]を開始するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. Windows®が起動する前の、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、**f10** を押します。

2 [Computer Setup]の使用

[Computer Setup]での移動および選択

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Diagnostics]（診断）、[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）の4つのメニューからアクセスできます。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

[Computer Setup]は Windows ベースではないため、マウスやタッチパッドには対応していません。項目間の移動および項目の選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
 - 項目を選択するには、**enter** キーを押します。
 - 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、**f1** キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、**f2** キーを押します。
2. [File]、[Security]、[Diagnostics]、または[System Configuration]メニューを選択します。
 3. 以下のどちらかの方法で[Computer Setup]を終了します。
 - 設定を保存せずに[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Ignore Changes and Exit]（設定を変更せずに終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。
 - 設定を変更して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。


選択または設定した内容は、コンピュータの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で操作します。


1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Restore defaults]（デフォルトに設定）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 確認ダイアログ ボックスが表示されたら、**f10** キーを押します。
4. 設定を変更して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピュータの再起動時に有効になります。

 **注記：** 上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードとセキュリティの設定は変更されません。

3 [Computer Setup]のメニュー


以下のメニュー一覧では、[Computer Setup]のオプションの概要を示します。

 **注記：** この章に記載されている[Computer Setup]のメニュー項目の一部は、機種によってはサポートされない場合があります。

[File] (ファイル) メニュー

オプション	設定内容
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none">コンピュータおよびバッテリーの識別情報を表示しますプロセッサ、キャッシュおよびメモリ サイズ、システム ROM、ビデオのリビジョン、キーボード コントローラのバージョンの仕様情報を表示します
Restore defaults (デフォルト設定に戻す)	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻します (このコマンドを使用して工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティ関連の設定は変更されません)
Ignore changes and exit (設定を変更せずに終了)	そのセッションで行った変更をキャンセルします。次に [Computer Setup]を終了し、コンピュータを再起動します
Save Changes and Exit (設定を保存して終了)	そのセッションで行った変更を保存します。次に [Computer Setup]を終了し、コンピュータを再起動します。保存した変更は、コンピュータが再起動されると有効になります

[Security] (セキュリティ) メニュー

 **注記：** このセクションに記載されているメニュー項目によっては、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

オプション	設定内容
Setup Password (セットアップパスワード)	セットアップパスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します
Password Options (パスワードオプション)	<ul style="list-style-type: none">● 厳重なセキュリティを有効/無効にします● コンピュータの再起動時のパスワードの要求を有効/無効にします
DriveLock Passwords (ドライブロックパスワード)	<ul style="list-style-type: none">● システム内のハードドライブの DriveLock (ドライブロック) を有効/無効にします● DriveLock の user password (ユーザパスワード) または master password (マスタパスワード) を変更します <p>注記： コンピュータを再起動するのではなく、電源を入れて[Computer Setup]を開いた場合にのみ、DriveLock の設定値にアクセスできます</p>
System IDs (システム ID)	コンピュータの、ユーザ定義の Asset Tracking Number (アセットタグ) および Ownership Tag (オーナーシップタグ) を入力します
Disk Sanitizer (ディスククリーナ)	メインハードドライブにあるすべてのデータを消去するディスククリーナを実行します。以下のオプションがあります
	<ul style="list-style-type: none">● Fast (高速) : 消去サイクルを 1 度実行します● Optimum (最適) : 消去サイクルを 3 度実行します● Custom (カスタム) : 消去サイクルの実行回数を一覧から選択できます● Last status (前回のステータス) コンピュータでディスククリーナを最後に実行したときの情報を提供します <p>注意： ディスククリーナを実行すると、メインハードドライブのデータは完全に消去されます</p>

[Diagnostics] (診断) メニュー

オプション	設定内容
HDD Self-Test Options (ハードドライブの自己診断オプション)	システム内の任意のハードドライブに対する包括的な自己診断テストを実行します
Memory Check (メモリ チェック)	システム メモリの包括的なテストを実行します
Startup Check (スタートアップ チェック)	コンピュータを起動するために必要なシステム コンポーネントを確認します

[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー

注記： 下記のシステム コンフィギュレーション メニューの一部は、モデルによってはサポートされない場合があります。

オプション	設定内容
Language (言語) (または f2 キーを押す)	[Computer Setup]の言語を変更します
Boot Options (ブート オプション)	<ul style="list-style-type: none">起動時の f9、f10 および f12 の遅延 (キー入力を待つ時間) を設定しますCD-ROM からのブートを有効/無効にしますフロッピーディスクのブートを有効/無効にします内蔵ネットワーク アダプタのブートを有効/無効にして、ブート モード (PXE) を設定しますマルチブートを有効/無効にします。マルチブートはシステム内のブート可能なほとんどのデバイスのブート順序を設定できますExpress Boot ポップアップの遅延を秒単位で設定しますブート順序を設定します
Device Configurations (デバイス設定)	<ul style="list-style-type: none">fn キーと左側の ctrl キーの機能を入れ替えますUSB レガシー サポート機能を有効/無効にします。USB レガシー サポートを有効にすると、以下のことが可能になります<ul style="list-style-type: none">Windows オペレーティング システムが実行されていなくても、USB 対応キーボードを[Computer Setup]で使用できますコンピュータの USB ポートに接続されているハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ、および光学ドライブを含めた、ブート可能な USB デバイスからコンピュータを起動することができますBIOS DMA データ転送を有効/無効にします外部電源使用時のシステムのファンを有効/無効にしますデータ実行防止設定 (DEP) を有効/無効にします。実行防止設定を有効にすると、一部のウィルスのコード実行をプロセッサによって無効にできます。これにより、コンピュータの安全性が向上しますSATA ネイティブ モードを有効/無効にしますデュアル コア CPU を有効/無効にしますビットシフトまたは LBA 支援のどちらかの HDD 変換モードを選択します仮想化テクノロジーを有効にします

オプション	設定内容
Built-In Device Options (内蔵デバイス オプション)	<ul style="list-style-type: none">● 内蔵無線 LAN デバイスの無線通信を有効/無効にします● Wake on LAN を有効/無効にします● オプティカル ディスク ドライブを有効/無効にします
Port Options (ポート オプション)	<ul style="list-style-type: none">● USB ポートを有効/無効にします● ExpressCard スロットを有効/無効にします

索引

C

- [Computer Setup]
 - [Diagnostics] (診断) メニュー 8
 - [File] (ファイル) メニュー 6
 - [Security] (セキュリティ) メニュー 7
 - [System Configuration] (システム
コンフィギュレーション)
メニュー 9
 - アクセス 1
 - 移動および選択 3
 - 工場出荷時設定の復元 4
 - 使用 2

D

- [Diagnostics] (診断) メニュー 8
- Disk Sanitizer (ディスククリー
ナ) 7
- DriveLock Password (ドライブロ
ック パスワード) 7

F

- [File] (ファイル) メニュー 6

L

- Language (言語)、[Computer
Setup]の変更 9

M

- Memory Check (メモリ チェッ
ク) 8

P

- Power-On Password (電源投入時
パスワード) 7

S

- [Security] (セキュリティ) メニュー 7

- [System Configuration] (システム
コンフィギュレーション) メニュー 9
- System information (システム情
報) 6

U

- USB レガシー サポート 1, 9

け

- 嚴重なセキュリティ 7

し

- 実行無効設定 9
- システム ファン 9

せ

- セットアップユーティリティ
 - [Diagnostics] (診断) メニュー 8
 - [File] (ファイル) メニュー 6
 - [Security] (セキュリティ) メニュー 7
 - [System Configuration] (システム
コンフィギュレーション)
メニュー 9
 - アクセス 1

と

- ドライブ、ブート順序 9

は

- パスワード 7
- ハードドライブのテスト 8

ふ

- ブート オプション 9
- ブート順序 9

れ

- レガシー サポート、USB 1, 9

